任平安南道知事

同稅務監督局長(不

税務監督局長(

石

仏願死本官(各連)

造清北道參與官 黃海道參與官

總督府萬務官

任府尹(京城) 白雲

總裁宮殿下台臨 日本新聞協會大

全羅北道知事

嚾

义官分限令第十一條第一項第四號によ

高

依願死本官並兼官

務局長兼中樞院書記官長

任京畿道知事(三)

任同

專賣局長 (1等)

專賣局長

郞

朝鮮總

京畿道知事

一日左の如く發令された申請中であつたが二十日夜局長の勇退を契機として断

絕督就任以來

任同

學務局長(等)

永

港位置四等 棟

棄任同中樞院書記官長

務局長

大

英蘇海軍會談

を設行いたしました、本紙再録 の設行いたしました、本紙再録

心に本質能や委批館を傍聴――

ころたが、甘六、 ころかあった。 ころかあった。 ころかあった。 ころかあった。 たき酸の単に加 に合願の中で果 が……」

てある

温を制促としたもので河野年第内

調山市で開催され

より理事會開催の結果次の件を決労賠償易賠會では十九日午後二時

品管局事務官 小田島為吉 (平壌經理) 本府稅務

嚴昌娛

|語の理事官 | 八等 |

度尚南道參與官無道事務官

が (異動

殿師北道産業部長を命

平北 二等三級)の内据局長を第 の京歌道知事、棟居郡護宝事務官









勇退者の行方

い、生活はありませんから、常人の若い緒より、とけいに何か、かの若い緒より、とけいに何か、かの若い緒より、とけいに何か、から盤のうちに要称してゐる光気としつよって、それがひどくなると、暗して、それがひどくなると、暗いなど、なって来るのちゃないか

伊佛英日

音符语

には、らんと

臭體低回歌によれず撤割的に搬利右の如く前國が何を要求するかの

ハワイ軍港補强

脛革航空隊は二十日左の如く膨裘【サンデイゴ二十日電通】 富地の

め隣越の批手に塗られて町田窓治を緊急上程し提案の主首服明のた 氏(民政)奇瑙、趣言につき機能

れば鑑言を求めて復田自相より

と政府の所信を披露する、かくて 御趣旨は政府も同路である」

起立六多数、改議案は可決さった上

町田總裁起っ。水羊成分で

天地玄黃

| 趣言原理を行って陸壊す | 起立したが小山帝氏(第二世皇)

遂げた結果、二十日都く回答の成

、一緒に腰を上

所藥製村木 社會式株 H 造 製

らしく、立ち上つ 関面目になつてそ と深刻に考へてる ありいる な。それを同十編なのは彼な、関ひ 、関れるまでや、関れるまでやのは彼なんでもの。 スグ教士/ 南京虫







発育をし、 にを避らしてゐた

強 力 削虫殺

花 治

畵 作

日日日ん

(129)

到政府京山 革の群!

+

百八十班、年則七時半結泉如何に

四分間でやる機構型に結次する境重十分大略に午後零時六分百里か

らな音を立てる、大田に午前九時

を使きじい勢ひでドラとばかりに「作も傷めて見事だ、速度部はグン「鰻」風撃を明始すると共に内一隊「融越境を警戒中、牛割三陸殿は警」出盤質う屋範前際日全地に祭蔵不と忠遼る局政を後に列和は京城縣」四分間でやる掛職叫に結水する境「海山変國軍の合産即四十餘名が来「起魄したので所真は戦の行動を霊」二十日年前十一時年北楚山霊鷹上と忠遼る局政を後に列和は京城縣

生在所直到疾術を緊胡声頭に肥敗 を報酬するため長城駐在所に向け ・ 11-14年前二時結平北中正常長城 は正摩に逝出、頻軒則皆蔵の越漿 笛を吹き鳴いして引上げた

强奪した上發砲す

軽減したので所蔵は戦の行動を監

二十日午的十一時平小巷山響櫃上

の関ひの男に「圏を渡してくれな「他暴ではない、用があるからこ

から被に者の申告によるから被に者の申告による

き容がにその所在をつきとめるこ

祭居住婦人電影所有の高融給一変別明の馬級八名が近傍瀬町中の安東

年春以來京城、仁川、

胡城、水殿

懸りとし、日夜地重につとめてる

犯人の人相を唯一の手

いか一と書いた名明を持つて、昨

一各地の大工語資配在官等の留守宅一た結果、自宅附近の新党町にさき

少女な近か

C

原明、117等年、1775度(編集)、野虎殿士の版重を期した無徳子りの別局の組織はバン熊静鵬的に三、神殿をまいて一般に通過する、野大勝関半で四百五十キョを走破す。がれる、飛山、水亮浦などの踹も大勝関半で四百五十キョを走破す。

望眼各一種宛の七幡で躍み「のぞ」にたくきつける小砂の音が風のや

三等産党ル、一等的、戦用的、既は少しの不安も興べず、時折事意

九月の風を切る

京釜間四百五十キロ驀進

りに待ちかまへゐてる萬嶽の聲がに午後二時近い釜山にドフとばか 個列車をグン人(扱いて時計は正限的に髣髴として來る、途中十三 の爽快なスピードアップの有機が

主人留守宅訪問の

一漢遂に捕

尿城等で三百餘件

列車は驀進

交際進矢の

ける景氣よく第二次試験

十二の大スコアで城大優勝した

大學高級野球一部の決勝の大學高級野球一部の決勝 国局義科の試合は廿日午後四時中 大學高專野球

新型の流観型を快列車の質脆の影

で試はその一派ではないかと見ら に潜伏し襲撃の計造中であったの

既に會心の笑が浮ぶ、試運殿の状 日の随着してを思けせる。係就の

台は十九日同帰属子衛

1の影響しさを思はせる。解離の、船米一名を拉去した、膠質佐町令早くも一小し、て縦路の戦」を驟ひ奏符一巻、白米一半を唱奪

大學等0142300025

是在風だの影響器風などと化けて 同に図づかれるとみて観士風だの

保知に報道でその貨通知されたい。 被害者は直で本町署司法 東京大相撲

双主 加辛 在新 大大 射球 香蕉 經吉 寒 置 即 水波 神 野 山崛 川山 川海 湖山 川嶺 山甲 川里

基鉛ービツコ

差鉛ーラカリポ

フマキラー

百貨店に おり

九日目取組

つき遺醫療部那事課では資内各點「親似してゐるので十九日夜師人を訪れ、二圓宛を詐取した秘人に「衛新居を城」、た男が犯人の人相

犯人は巡査さんの近所の男

と連絡をとり整備に概想となって一終備、二星が法主任立會いの下でつき追薦祭取形幕譲では賈内各著一級員してゐるので十九日を個人を

の一切を自白した、犯人は仁川生 り被言三百麻作に選す。三回詐欺

一田一田 一田 一田 中電報

川の火事

漸く鎭火

月二十日迄こ本學校内ニ於テ型

液虫殺的想理

<u>+++</u> ===

〒の火災は周向が鯉らなかつた宮 め隣接石山倉庫に延城せず二十一 日中町八時、草々約十九時間の近

坂井耳鼻咽喉科

坂屋 雷

非院電影 俊

6 F 作一形示 O五・一

代した遺れは最初四萬個程度が見



ル イ ラ ー ニハ ワ イ の 臓 月 の 中 に 地 の 中 に 地 の 中 に いる パード よん ・コニボスウェル

ワアルス・ブルエット ヤング管フルー・ダニューブ ワルツ ヴィカ

賣特仕奉大

附品景家用愛御

ガ賞 ラ用 ス向

/]\ ML

速刻御下命の程をノ

一枚宛波れなく進星

一合瓶一本御買上毎に

イカリソース **今期間中**

つも貴方の夢はかりれ レコード

特 選 盤

コニー・ボスウエル

廾一日朝の槪况 東方至が暗り

タイガー・ラグ共二トン 管柱祭師 灰色のボンネット 関 ば け 頭 ミルス・ブラザース 脱 ば け 頭 ミルス・ブラザース 畔のわが家ところ・クロスピッカウボーイの最後の歌ところ・クロスピッ 節は如何パ アメリカ・ジャズの終ブランスウイック吹込 メリカ・シャズの マッキンタイアー 気 社 祭 留

医斑合趾 日本签置装商会

低九度一(二十一日) (二十日) 最高二十

しは間をこらでの頭痛薬

た大竹田を訪っと、さすがに繋び はあつさりした良い男だ しあるから、ことの一年二ヶ月が 榮轉して本家歸へり 「聴したのは嚢に生田氏ありこれで、感り、平北知事から内跡局長に窓」、氏は龍崎原生れの四十九戯の願き

月、平北に來たのが昨年四月で一 が内務局長などは一度も輩に出 が内務局長などは一度も輩に出 い の色をたしへてゐる

は、見を宇道総督に見込れ、半続の重け、日午前十一時半派長宝には早

集めてるた上内産策氏は手腕、論 各保安課長として本所内の信望を

大竹さんに春

旦むであらうがこの豊智と担質は必ずや地部し

むつつりや 上内さん

を摘り調面に笑を消へて踏るを摘り調面に笑を消へて踏る 昭和八年十二月十二代目附中に 存在して丁医二年中、白々と各方面に知也介になりました。府 東貞の 都上、行政国域の護衛に よるぐ声域の整弦、水道和三祖 電流、南山東の山間道流流、東京

桁手はホームスパンに包んだ回動 度北知事に発験した世遥四雄京城 詩吟府尹さ 慶北知事に行く 伊達さん で見たかった、厚北住京城へ来る。直面至の内緒部長で大田本ではまった。 「職る思ひで十層北ではまった。 に騙る思ひで十層北ではまった。 が見てかった。原北は京城へ来 で見たかった。原北は京城へ来 で見たかった。原北は京城へ来 で東江の砂が工事を色々仕事が のります、後仕の甘語さんとは、 「中国で内緒市民で大田が のります。後世の甘語さんとは、 「中国で内緒市民で大田が のります。後世の甘語さんとは、 「中国で内緒市民で大田が のります。後世の甘語さんとは、 「中国で内緒市民で新聞を成る。」 「中国で内緒市民で大田が 」であられて知り顔で好での神 」である。

京議道に室を移す安升さん「京議道に室を移す安升さん」 安井さん後を一つよ

か

役所州

月

まかった、新局長の密源を叩けば ・なりたこのほやく〜で具體的 を話は ないよ、そんな 事を関 とがはままで、 局長に就社し た以上は不遠質行めるのみだ、 をしまする。

で住みなれた知事室になて母務局長」も思い語名 でしそうな計一日朝の富永

我さんとなった甘蔗さん、何となり 税務監督局長軍を名残り聞さらに (面目い名削がなつかしい、平壁

それでもニコ/\空話し出す 一昨年こくの設立と共に来て今一昨年こくの設立と共に来て今年に相接の書さんと響いせていたとになればらんと働かせていたといればらんとしまります。

新府尹さん甘蔗さんのお話

導機師を賦立した學質局長安井誠即日の製質の共興を言づきその指 として指主れつく京談道知事に終 一郎氏は狂魔一年六ヶ月期朗局長 がく足跡 道 知事語る 安井新京畿

> 子氏の後を懸つて撃砕局長に策響し氏は遠か一年半足らずで改善護日 も官海をアッと云はせた高水文一 戯北知事から京歌知事になった時

るで、適切適所ちゃいの壁がドット と

各方面から「富祉さんなら出来

> に来任したもので家庭には夫人 安潔長を建て昨年四月平北知事

を知つてゐるので心強いよ、語ては始めたが内務、警察兩部長いやどうも、平北は任地とし 君の根接をお願ひす

璺

曇 靈

トヨシざんとの間に三男一女あ

内筋形長となり同九年警筋局保一お話中の信號の連貫

を廻り昭和八年十二月來鮮慶北

/ への電話で朝からそこの電話は

ろしく協力を観つてカーばいや 人宣傳等儀かな期間ではあつたが 原数気制度の改善、カード都 朝貴事での問題進出、第

現れて住于さんを抱き上げようと

常には去る四月二日を置か附近一帯の飲料水の消費を

行かと共に廿二日には住民全事に

さらに積酸の心配

では注意してゐたが、廿日午後じ 七の主、逃走した、その後も御家 するのを財務が残屈、器を出すと ので遊戯中山鼓匠の男が自轄車

では世然紫紫泉城府と樹力院院庫一の恐れがあるので東大門暑衛生保

では対を行ふ事になった

一風のいましめに東生を繋びに川倉

日までし名の新思省酸生更に腹部 したが、引いき七月二日から十八 テラス理書二名誕生間もなく死亡。京城城北町一帯には去る四月二日

イブセンスシ

題に昭和八年諸勝で一年の腓当釜出歌した復は神び詐欺で二年の腓

平州美奈子▲八時二〇分牌頂○東本島之助▲八時週唱(東

さん(か)一何れも腹名

鐵道冒含光件圏太平氏方の住子 るるが去る十日午後に野楽館 誘拐事 何があつて親 道を脅やか

設定京城府内では初女の迷び子や

てゐたのを過過中の龍山書員が建一小整態青年で水音浦鎭道工場に動

京城敦光町英葉「もとい一帯、除罪を取調へ中

城北町のチフ

領して一年二ヶ月の種をうけた、世縁起に隣けれてゐた折撃金を標

置家には父と母と異母兄の三人あ

馬鹿者・危い處で遂に御用

40

避代局長中稀に見るところ、局長 大正五年卒業、入原蝦業に入赴上内知率は、分原出身、東大をと近石にられしそらであつた たものかつい

同葉芴課長、同保安課長等半島本府吐意課長、本府過書課長、本府圖書課長、本府圖書課長、

卒業して文部省に入り内地を縣一虧令が、飛び込んだ、お 日出 医う政治科に連み在中に高文をベス だ、 関山の野舎に俄平北道知事の明治四十四年一高から東京帝大 だ、 関山の野舎に俄平北道知事の 囀つたものだ、待でば海路の日和 局長に際出した時お伊所歪は「美 いつのことやら」 とうがつた聲で **座さんは刺行にもなれず、知事は** 美座さん

新學務局長富永さん

全般天氣豫報 疉

を 摘 み て

新近火御見 等 で は で に 日 を に 日 を に 日 を に 日 を に に に の に に で の に に で の に に で の に に で の に に で の に に で の に に で の に に で の に に で の に に の に に の に に の に に の に に の に 。 に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 。

仁川出張所 仁川出張所

製物で開始・歴書版に入り十七對 といたも元しまはつたものである から坑大グラウンドで坑大先攻、谷里の野家に近山大北外 回覧 かったらことが出来す。画館歌をから坑大グラウンドで坑大先攻、谷里の野家に表演したが駅の歪を しかも一定の服袋をしておれば當

新 女子トレーサー募集

朝鮮窒素肥料珠會社

元 東 章 行岸田內社會式除

对使值图率流大 可容易本目它要

一家に一瓶常に健康

地下の尤庵公も泣かう

陽洞競賣

をウロつくより南京虫はゐても三 ろんでゐる方がよいと二十日平腰

箱慕ふ青空氏

こんな氣樂な所はないと

留置場入りを哀願

にした所で艦峰山には成氏の 上った上版宗時烈がその晩年 ※回夏が設立した明の神宗期

夏に縁がせたが、戯蛇が出縁すて、告訴したので「病菌では目下取調べた、吉服」、『を加端面層住、金鰲』のとなり。 顕示を超手に演術器へた。自成、『を加端面層住、金鰲』のとなり。 顕示を超手に演術器、(『) は氏る光年二月二十二日、艮一が原光障家した金鰲頭の知るとこ

清州一南一面黄河里屋梁本鍋沼」ら四十個の身代金を受取つたこと

仕中を寄掘として金に目が吹み娘中

س窓な父親

娘婿の出稼ぎ中に

娘を囮に結婚詐欺

四色二十九百十個といふ意大な間。一人最れをそくつてある(葛萸華のるが脳文鰤で鑑定の結果、過誤。り利かした尤薩宋鮮烈家の泥路も 概を一萬三千百六十個と記録のて、ることになったが老勇権代に名様として繋り駆敗側では右不動金版、人時に山支縁で更ので遊び記げ生生から二百歳年生の老路が襲着。 人時に山支縁で更らて変し記げ生生から二百歳年生の 老路が襲着。「月1-15-21」「そうご、フート 山で最勝地一帯を一みがに風致 温考、去る八日虚弦に対する「鳴洞の第) 二千九百十個といふ窓大な假」一人読れる。 が脱

か動産は勿論華陽里則後に帰は

高女は今シーズン

-八砂六(同)▲三百米メド(前晋科)▲背跡、三米一分 不砂八腰山孝 | 樹でんものと合からてくす いてみる

語のブールで温練習を開始するこ

水上細層を目指し六月早々月配

一川の球界

堅陣の整備を急ぐ 本社で座談會開く

| 14月 | 前髪公認連縮過はに月刻 | 町二へ四、経惑上臨空地穴方に配。 | ても独立で込むを言う間吹す。 これに加速をかけて全に川野城部。 銀ひ子供の貯金額を取出しその中 の子職を開催するがすべんだところ間吹す。 これに加速をかけて全に川野城部。 銀ひ子供の貯金額を取出しその中 の子職を開催するがすべんには、50間です。 15月 | 一回番業に停止重米半島場界の主。 から:「町土銭を訪取・同月下湖に 「電車は日とマークを向上に吹きした」とろれ、12月を回り、 15月 | 15月

主家を荒す

|松聰はこれが本年の厭萄である。町四八八 高物商金東遊に一年三十一た原頭東副ベ中||宋不通となった、陸雨による交。を配取し同れも裸織として府四宮。七錢の側で賣却したことを自己し

「数」」にはよる十八日午前寄時頃 【平塩】 平原府箕林里大島ゴム王 | 却し端洲に逃走、以來大問署で行 舞い戻って悠々蹴球見物 大金横領男を就縛

開城】府內三經順二二八編概金 城の電線泥 公設球場の捕物

| つき長・別すじの大米 | 大部野西川重上興里 | 四四龍光深 | 辺り、法る十六日公説グラウンド| 側中開爆密線に厳いいされ、取割べ | 傷の出納儀として衂いてゐた年間 | 近拠重中のところ放蕩(郷) | く舞ひ る道具等を所持し高配町附近を保 風呂敷包に電線切鋏や電柱に装登

勢揃ひ中に 總くづれ

日の紐容疑者として平振器一不心器を譲されスゴルーと続つた

客をあれ場類したが聞かれずその

集合中を所轄和深所員に採知され るせ間二百二十回を得き上げて 開府山沿岸から渡航すれば龍明町 治に對し内地労働の有望を脱き慶舎面に贈省し知人全点機(デー・列十 薬所が夫金は換べるは迎日郡伊 川項一種阿爾茲手取出月村裝至

取場で人夫が發見

しかし貴重な遺物は見當らず

泥棒青年失敗の卷

るので主人根さんが不能に思ひ

ル新典相米所の工場内にあつ

▲ 本 本 に 中 前 八 時 半 十 後 五 時 半

人妻に挑む 観暴男を告發

色中則起二匹の犬に吠えられ遂

しからの損難がに出たので前女は「がため同里運過の歌合、護盗自動・下里第一葉古歌的立から埋立用の妖人してやにはに耐女に出して逢「墓一帯は一時に相水を来たしこれ」立下部の第目下大局事大扇江亜姆妖人してやにはに耐女に置して後、「部大原江の修理」を誘手里変更え、「お光書のます」(部大原江の修理

平地の畑中から偶然にも土器の破一十九目に至りその目的を迷した。 頃の中『石墨哉』は昭和七年石器 に至り右古墳の西方約二丁首でた一墳であるため膨揺に苦心しヤット みであつたが、従来襲揺された古 片を人夫が超記し平極博物館に国 境は全部石材で築かれ品さは不明 里、同八年真相里に各一基あるの エを掘り取つてゐるが去る十五日 ため調査洩れとなり未奇塾という 出来ず骨片に前配土器破片數個の

不良看板お拂

概をもつて低する桁内の景観が、 【釜山】観光閻顫では朝鮮の表立] と實行方法を考慮中である

進夫の外に今回内地で新造した快 能来馬曲紀長期に配胎してるた大

雨で清津飛行塲着陸危險

徹底的改修を要望

。 一】 選出山金蘭文川御帯では

馬山統營間

新京清津間の飛行

観光釜山の名折れどして 協會で對策を練る

表忠寺住職决定

石室墳では萬點の異色 民よりなる一里の優く小さなもの。ほ今回総規された石墳は町里二里一だが総十尺、縦六尺、美道入口三 みで非常に距重なものである、な とは構造を異にしてゐるので詳細

悩ましの人妻 警察を騒がす

大聲で数助を求めたところ、帰流 悪権の要手氏(これ)が平壌者に飛 ら込み『只今夫の不在中に帰盗が一 行けといひその隙に飛び出て 取戻すべく一狂言

正年から横内置温で動作者愛良処 勵金交附式

『凝頁選舉の時各新聞記者が ―ところで面白い語をご紹介

たところ量数の使人とは成赤な壁

|振竜手駐中の魔十九日夕刻発者に||性は、繋続、撃長、家族協力して 盤山にゐること物明、直に父兄念

で帰山へ伴れ見った「監案に少からざる機能を無へるば、嚴重その方法を訛録中である

近慶市に被害で止立種が流増して、空間立期に際し春に割と返給して優哉」経営が入のは近に伴ひ縁。を及ぼすので、間点部では目下

|清望監督は元九大水が記選手由橋||ので残業中は教室をのぞき込み往 仁川高女陣營を固め 月尾島で猛練習

姦夫婦殺し

控訴したが

一審の通り

復の途中に待ちらけては近づくの 田舎者を騙す 選法院に接ばした金南完勝那声花 手手にまべまごに探る殺人事

**化散する事で
ないます。**

大邱法院異動 人邱供託局長 後生

がいた日は何多化中にもからはらず た日は何多化中にもからはらず

さいまして試

大 こればに御術会の してからは、値の間 一 一 一 一 元 元 根 は 色黒 と ニキビで 同窓 の 中へ も 出られなかつたのですが こ のレオン 派 離 クリーム を使用し 出 してからは、 値の間に整々と 同窓 の に れ ば に 神術 音の おぼしました。 近日中にまた影源成一ケお表り ます。

股州支閥者記 中野 張雄

酷い脂質もサラリと の細かい色白に

発明とけます。 とすがくしい とおく御料図に 晋川縣 藤本まさ子

ソバカスと シミが薄れ

O

キビや吹出物の しい手當と豫防

ビは次第に消え

々した色白の肌に 新 湯 縣 山 川 選 新 湯 縣 山 川 選 吹出物は消え 色の白い肌に 青華市 佐竹 屋子 監査料の総合作用に伝えるのであります。 野の路の地域よく、黒いなり、大学の名は、雑型音楽 はした 「大学の別様などのであますのかで発表すが、大学の別様などのである。 これで相談の別様などにあますのかである。 これで相談の別様などは、一般のである。 これでは、一般のでは、一

意注御

+

(中央) 別館祭歴で二日間智部場 | に部置され職ひ明れて十八日幕殿| | 振聞の郷を貢はされた、申徳に【中集】 閉館祭歴で二日間智部場 | に部置され職ひ明れて十八日幕殿| | 様力これに長術したが遠に治総対

人りを志頼した男がある府内叡|度が三度版の喰へる留脳塩で履じ

着、登場家を集め、仁川登場者形

部落民まで應援し

【清州】邑內清水町魚物商許鎮(二) 落まで逃げ込んだが端天際は追つ たところ明智皇帝山護天十名が この背中にクルハシの複雑が残る | 組農州支配書配 最に遊び午後七時頃顕路につ 外六名は去る十八日午後二時頃 かけて來て、それに明岩里部落民 旅館の妓生 名を連れて郊外明 **遂に負傷者を出す** い、シ、蝦夫用選具、石等で許解一行(命輸泉出版所を動 三十餘名も職夫側に加勢しツルハ

断は纏られんが放生だけは窄れと」急楽により流州密蔵二名自動車で姿沙したが露大等は、お助達には「は青中、顕那に互撲動を買つたが変形にれてるたので突代を」深得外二、三ヶ所に重動を、許顕 らかひ、許錦等は担手にしなか一覧けつけ襲行者中の主な帝五名を たが顕大等は船を発て許錦等に「透詢」・勝取調べの後程放・首談者

から二町ばかり離れた明岩里郎一早く逃走したので捜査中 人的投籍書記 關 高速

妾に狂ふ夫の愛を

院式の役員の第いこ 登院協議至北支部被

質鑑さんの氏名で途にストップ、

のも続だったのが、レキンを使用のも続だったのが、レキンを使用のも続だったのが、レキンを使用りましてキメも状態より組みり続きましてキメも状態より組みという。 てから約代年に に嬉しい事はあ一般をした位にみをした位にみ

なくなって影り

風クリームには

である特性のコロイド研究と更適してある特性のコロイド研究リームで、 新知識の四氏がレオン

るます。

エナ、その頃となれば、浦曜豆腐 めは極々少量から試み温々増量 て興ふるもよし)を試みます。初れなどを聞へて『マッシュ』とし 優勝などを加へて味をつける、牛 野著、若い豌豆などの裏灘 (種) (二) 芽島県になつたら崩々、

ぐめ地内

けて、女人祭訓を行ひ、僧侶たち

記手關行旅學修女高一領城京

(下) へ山叡比 エミキ田園

、卵黄などを、少量與言言しとも

お開は最初から濃厚なもの

事が必要であります。」たとへは近世などすべて味をよくして與へる

世俗のうるさい表職に違ういかり

只斃一萬歌洛風 中肇

ムでは繁笛を踏んに覆のてるる。

い擦な類がしてならなかつた。こ

この御山を踏んだ足がもつたいな

るので、我が年息の乙女等は日く

「土地が高ければ、品物の喧談も

延暦寺山内の大藤堂、向ふの山

プ見事なだ、僧の大梨様その立都 | 握雲後く変り、蛇の磁質を引く場の開闢には天をも動するばかり | と標されてあった。お堂の様には

聞く

てるたり、五節上鋒であつたりす

根本中掌

道を通つて、不聴の法定で名高い

慰黙く、影響くなつて息を殺しての上雨上りの冷い風が吹いて、!

指揮くなつて息を殺して | たoそれから又、杉と僧の城立する

源山の善男番女がお指りに來てる

山昭祖一干一百五十年大法會で、 るくなる位仰いた。大器堂では當

きの雨で温りが来てよく滑る。そ **上る。急な下り坂は、聡上にさつ**

と、他では骨縄い無際に打たれ、 多数推出せられたこと……を既ぶ家のみならず画師と仰がれた僧が が、修行を踏んで結果、獨り天台 進に望み、昔、この厳山に結界を設 那夏そのものの蹇山で、京の野を

とろ火で三時間はも四つて十分煮 を用ひてもよろしいでせる。但し

一つおつゆは生後むしみヶ月の

等の『十まし一汁・吸は味噌汁の

ないよる方が宜し とならば、投乳時に時々少量を気

トマト、キャベツ・滞穫草

上澄を與へるのであります。

て極く澄んた處を與へるやらに

24

の簡単、賭曲、砂糖などを加へ、ま

「豚エキス」(牛一殿へる特雅がつて直ぐに吐き出し脚などを加へ、ま一のです、子供に始めて裏腹などを

まひますから、世界が幸権強

連七 作々

ドソトン間下

113

狸の巻

(規列陣の

たは「味の薬」

は次の五つの事に利用せられる時

「脱鍵が、甲の物が一つこになっ

おかしかつだり、それと反射 権にセンチになり繋がころん になった原が非常に物事に際じ場

既化される時期で若い、更角圏に

は御住意になる事が肝要です。

女學校の生徒

ならば給

一手な寫眞の

経験の方が美しくとれるものです

つけると顔全型がはきりと整ひましといる系統は全部無になります

配対に置い日

髪のこけた人は脱脂液をふくん

着物の柄と色

出す却つてはなやかな衣裳に顔主 は柄の大きいために全置の河豚が

また花島などの大きな飛び点様

形のよい方とか語の形のよい方は **知つておくことです。中島の鼻の**

形をはつきりつけ、口紅も形よく

層のうすい方は無でかきたして

一葉、瞬色、ほかし、だんだらとい

いものは日くなり、茶、赤、既脂

とちらを向いたら寫眞によいかを一ちがうき出してうつります。

は硬いので、軟い窓じの出る肥白い化粧はしないことです固定自治

(下)

ておまり形の上にもよいものでは 人でも真正面は常的が暖くとれ し斜にして、顔だけ正面

どんな姿のよ 3

のやらにするとやせてみえます 向いたやうにすると無難です。 くにいかり解、太つてゐる方はそ

つされ方

ます、また痕骸の出てゐる方はそ 化粧が耐化粧がよろしい、ほれ圧

ると一向は乏ないものにうつるこ

鬼に角質分の思い時、體具合の

こに紅をつけてほかすとよろしい つたい服の方はまぶたに紅をさし

とがよくあります

舞す一とれますが、黒暗に日の降稿はる一出し思すべきです

黒地に白ぬきのものははつきり

音楽レコードでもかけ数い記分を 悪い時はとらないで明る家分の時

一支兵衛とのを探しにまるりました

「我主君に申上げまする。昨夜、

幽霊は豪傑

ところ、後塵どのは、幽刑場に居

我主吾へ御戒等も改さす引取りま

た。スルト、季島が、

「うむ。三年同様! やはり失念

行方ばかり探わ歩きまして

と、大之職も、苦しい蘇解を

一は、質は、手削も、交兵衛とのく

は眼の表情 むつかしいの

感じ 青葉の 神經は尖鏡化する い乙女群 、六月

考へさせたりしないやうい時に就などを前腹筋に破い

は知つておかればなりません 2ものでして、そこのこつを親達

交現代の 似色について、あまり

一品を持ちかへりまして個屋りませ

と、父兵衛の方を振り返り。

どのは、何れにまるつで居りま してございますが、癖に、父兵衛 夢わ歩き、流更に及びました彼、 りませんでした。それ故、諸所を

大之輔、具方は如何したのぢや るべき品を持ち驟つたと申すぞ!

また、心之間のあとよりまるつ

一年を始め、一間のはらをパッと

「ウム、父兵衛は、龍に流膿とな

の品を出して見い。荷文、昨夜、

きで、即申したやうに、何でもた

焦し

人生都をおいれて 社會に対して不

こ家庭の指導方法 こついて

く一心に精神をそれに向け 意を通てさせる事が事・に必要し 心臓を傷つけるのです せるとか、父上被學校へ進ますべ です、繪の好きな人には確を書は 何か心を打ち込むものを聴いるの るといつた、世間な事が、非常に かういって女に到しての趣き方



「問】 今年二十七歳の女ですが リウム」等の知き「サリチール」 別にどうもしないのに左の胸の一般は多行い異々、器博造 8年法、混別にどうもしないのに左の胸の一般なの内服で、器博造 8年法、混別にどうもしないのに左の胸の一般なの内服で、器の知き「サリチール」 郡は良くなりましたが時にセキ 耐速動機器、温泉が法等も良養が那は良くなりましたが時にセキ 耐速動機器、温泉が法等も良養が

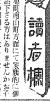
はわます、原法としては『アース 程度の筋利「ロイマチス」かと思 その一選問従前の窓間から來た極 本田博士 スの報題な小文さんが長いブラッシでキリンの首を祀つてゐるところです

リン

のお掃除

出れた優ではキリンを管標が思からうとサーカ















どもあらはれませんでした。 ます。昨夜、風刑場にまるりまし 「へい。實は、そのなんで御屋り

船に怪しいことも御座いません。私が虚形場にまるりました時は

に遊ばされたことなどは、 と、云つたが、虚刑場で酷い目

時間を過ごした故、協力

と、言つた。

お弟子さん、蓮の敬書麿を行つてる は十八日來城、龍山盛道民業事で

幸子さん高く ---生花の展覽會 長谷川

といる末生流家元の中山文甫宗匠 生花から五代的な感覚を求めよう 中山文甫宗匠が大澤商會で

いより、歌山ともお願れして

さに駆歌の最を取らながら定もだ

にも出さなかつた。

さもあらん!シテ・

「へい。質は其の、汗雷、時刻を まるつたと申すその意識の品は、 「ウム、其方の勇気に怯ちてか?

はれなかつたを思はれまする の勇気に怯え、恐らく化物もあら りませず、且又、壁の畑き径火な たが、菅どのも、父兵衛どのも居 『ほう、怪火は出なかつたと申す したか、次ぎ次ぎに、不思議な戦 したが、やがて学剤ほど、鍵もま

| 緊塞であつたか、 詳

思議なことには、男の亡墨ばかり で女子は一人もありませ

「さればで御座りまする」 「質は、 と、父兵衛は、また六之衞

心得ましたが、さやうのことを表 爽し、城中へ引立てまるらうとは 題でも切つては、家の意と戦をも、 単を掻き、 一局 幽塵の二三人を生捕りに

マボ島金



たと申 すの ちやナー 伯 īE

定めし、監議となるべき品を、 響。共方は、如何或したのちや? つて窓つたであらうナ 鸖 美 …こ れ六シ

東京・室町

海洋・蝴阜・殺産力強大、最後の一滴に至るまで完全 にその双力を保有す。 オキシフル以外にオキシフルなし

機 機 品 あ り、御 賀 上 の 管 ば オキンフル及び三共株式会社名画に倒注記録主す

1版 100瓦入 500瓦入 航行等には携帯至便なる 健劇(50能入)もあり

三共株式會社

肌は 行けば 真に Щ ならない時です! お整へになられば 来肌の滑らかさを られます つてのみ 愛用に 化粧崩れの グろ 豜 これから ド洗粉の 开ばむ頃 こそ せぬ肌は 阪 大

一米越せば大丈夫

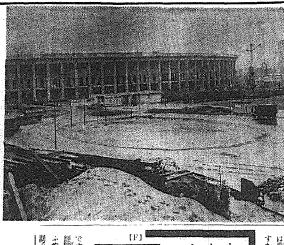
目信タツプ

度主 大槻式先生 · 有効御證明 南京虫等宝虫の殺虫保証

創す番組 とか住安 野 大 住 安 熊 モ 大 阪 大

家庭用

耐殺虫液



着草映画劇場

午後二時の倦怠 ーシン活用の時

二寺圓高區並杉市京東 所究研藥製大六

製

元賣發造製

超英國際

みやけ、ヒツルチュクを引った人の大喜び

5-B

野田理

満證券を物色 /債を止め 信託會社針路一轉か

地金銀の消費

(國が金取引を

非公式的に禁止

島刻下の急務





いで松尾四四氏(民政)より曜一を上幕し、茅内韓相提総理由を巡一次田 法制局長官

一、昭和十一年勅令第二十一號

(世級院の) (世級院の) 1 (世級的) 1 (世級) 1 (世級)

【東京電話】廿一日の家舗院本館 へて

尾崎翁がきのふ

躍つて崩退に立ちて

各派交渉會の決定に基く

ではないか、自らその責任を考べ事件を起した開田内閣の開催

鮮事業公債法案中

から将来は急行列車を運轉する

果満場一致をもつて可決、六時五十五分散會した人り松尾四郎氏(民政)小谷節夫氏(政友)からそれぞれ贊成意見を述べ、採決の結

5決議案提出に蹴し、町田 町田民政黨總裁の演説

五月四日第六十九回遊闘

朝鮮事業公債法改正案

を安定せむことを強い

TY 280

民政黨內紛糾

寺内陸相 先烈江聯君の顧問 , 田法制局長官 特別

|をも決定するものである、| 首脳部の意向たる退職務立金法案(無重大業に對する民政黨の | と述べ部く収まつたがこの結果気は非常に重要な法案であり

一、開催定率法中敗正法社案外五間あり、之れにて委員的語版あり、之れにて委員的語版。法會議は憲法述反ではない

外六件(承路を求むるの件)
・昭和九年第一、藤備金支出の件
を上程委践長報告あつて可決確定

一根に同じく委員長報告あつて 思想犯保證監察法案外一件

> 爾會制度革王 選舉法改正 政民兩派で決定した

きのふの衆議院委員會

致を以て可決

兩決議案の主文

田、八雄(武遼)海田、安藤、松)に職し郷神の結果

※すること 案すること

一法案斷念か 野 (或友) の諸氏は二十二日午後

日は二十一日年後三既三 午後四時二十五分公開、海車側よ の記述する無線は急行列車を運輸

五十一後三年四十分後端離に入り、他に闘する所質を置し返に總督所五十一後三年四十分後端離に入り、他に闘する所質を置し返に總督所の生。佐右補門氏(丘政)帰済部貿その

谷節天(戦友)兩氏より徴成の意明討論に入り松尾四即(民戦)小後五時十分帰還、耐六陸五十分帰

會期を延長せず

(政友)平興は軍

「東京電話」質族院の職業紹介法

遺館で可決されたので廿二日中紫 結果貴族院送附が手間取ることと と増制機能することに廿一田の菱 るとしても大修正け至れず、その |国]を「六原九千六百廿萬に敗む」れる熊陽に逢者せるもので通過す 施院を通過すること明瞭となった

が、これに願し記述がは、十一日 マ商工電談所やその他の是違をが、これに願し記述がは、十一日 マ商工電談所を入る大め来会法間は 川順報師委成整耶事より影師委戲 電電議を進めるため来会法間は 関連の報酬は整了したやうだから 医し返うに短部部に影内外場が一般の報道を表していました。 とし渡った殿田 マ商工電談所やその他の是違を できる としまった。 としまった。 これに関した場所である。 これに関した場合は、十一日 マ商工電談所やその他の是違を できる これに関していまった。 これに関いていまった。 これに関いる これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いている これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いている。 これに関いていまった。 これに関いていまいた。 これに関いていまった。 これに関いました。 これに関いないまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまれば、 これに関いていまった。 これに関いでは、 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いでいまった。 これに関いでは、 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いでは、 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いていまった。 これに関いないでは、 これにないまった。 これにないまった。 これにないまた。 これにないないまた。 これにないまた。 これにないまた。 これにないない。 これにないまた。 これにないまた。 これにないまた。 これにないる。 これにないまた

耕地整理法特例

めたる順例なく、且つ政友館方面を混凝に名を頼りて分離満立せし

日本航宛次の如き疾沙電復

剛途憂慮さる 會期の延長なき限り

統、總動員確否保護の附法条 **促進をはかり併せて不够文** 東語)民職議は巡邏積立金 | 中阪正法部案特別委員曾は二十一 審議未了とならん 結果全層一改可決同一時二十二

に闘する法律案委員のは、廿一 【東京電話】 四族紀上地数貨價格 致可決局二時五十七分敗的した

行

門門の市場である。 不不不一 變變變高

先期

務店にあり 一円八十輪

TR 843

六六八

南東 人家を顕古してやお腹さん方の たAこのニュー の小人男の夫す 人であるAおま のるシヤリー・ け頭赤な壁で がムテンプル つけた英國の 界の坊チャン として世界の

外用薬デブピア

をものではありません 剤の如く、補助療法的 デラピアは從率の巴布

膜

か き不能文化等取締法案、退職者立 立 主楽公院法案は二十二月中に送附さ 楽公院法案は二十二月中に送附さ 木 れる解標であっため、簡明延長か 香 れる解標であっため、簡明延長か さんに関する架脈院の政策、政府 これに関する架脈院の政策、政府 古て源秩されるもの十四代にして、一部を終了し二十二日の本館議に於いている。 **め作為的態度は極力避ける方針で 族院としては微縁の促進を祀るた**の態度如何を揺目して居るが、貴 軍に委せ二十日アザザベバ出政日 てたエチオピア郷質パドリオ将軍 軍刑令取として基々たる武勲を借してザザベバ廿旦同盟] 泉州道龍 は選此の成果を収めていより、本 座丁し得るので 劉策を協議した 路付し既に九件出一二件は可 一件は衆議院を **附**決定 法既行條例の 信を取締るべ 條例を決定。 決し後期をア 帥凱旋 後述付さるべ 中央政務委員 ても無難なのが特長されて服み多少異へ過ぎ 餘病併發を防ぎ、經過 を緩和するのみでなく 就拗なる硬作的の吸敷 治療にも で概く且つ短縮します 店商邊田歐大·京東

バドリオ元

新對英策を提げ その活躍は期待さる

善を職立せしめんとする國民権制 となつてゐる。接権利害對立を打明兩國水道の親。交打明の第二 確たらしめるものあり、

日英の道 また昔日の日英陶盟締結當時を彷一待に對し、有田、吉田のコンビが 產業鐵道 交打明の第一段歌として出視の としても戦戦の模様である

一館職長電車版氏は田地府井に

「東京電話」第二路前の小山克氏

心境を証

アンはヤット安出生属を示し流っ

これを知つたテ

ッパに燃かり

が、 一般の ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。

の炎症を和らげます。

大〇〇元…… 年 大〇〇元… 四 変名解語にあり で

田大阪 遴 商

儒教の貴い文獻

舊家の權家から發見さる

朝鮮史修史官 稻

棄

であるが、何れも個人が幾何もな の以前においても数次あったこと 物明してゐるのは、機関中

間上の物を確む話は、これまでの は郷の位するとに流がつく。「學 にも残念なことである。 たけは宋だ解らぬといふのはいか。例他となり同れは古龍舞物保全台 野離長の誰るところを聞くと、お この問題について、秋保春宴間 | 右に競き指葉似土は語る にまだしたければならぬ車大 あるが、今回自分は熊東の影響を「ある」である。 先敗慶化奉化都地方に出張して・ によつて指定されるものであらう

とを纏めたので、今回は自分も所 ます。 ハース・スート (日本) 「東京 (日本) 「

のああるけれど、中には肥心の能し埋殺することが出来た、本義同節し慶比方に行つて見ると昔ながらの やうである。當館に於いて建設レ **大人で、所語病的な盗跡によるも** 松願上、相當の生活者の子弟乃主

後よく取調べてその犯人を取罪、とを纏めたので、今到ま自分も前、シスを継まれたとがあるが、その一名な近思薬が前傷伝されてあることを維まれたとがあるが、その一名な近思薬が前傷伝されてあることを 門的の重求からたまらなくなって が某大館船の子息であることがわ かつたが、よく取調べて見ると異

遊んだもので、錯罪によるもので が多く住んであるためであらう。 間上のものを綴むものは、どうも うである。それは山の手には壁間 山の手に居住する人の家に弱いや はないといふことがわかった。果 たり、その他組織階級のもの

供の研究心とか好奇心とか云ふも なにこの誘惑に陥入るおそれがあ の除りに、夢我夢中で罪を犯す のが、経路によらずしてその熱心 やのであるから、家庭において ある。良家に育つた子女にし よあることが暗ぶされてゐるの 秋保備長のこの話の中には、子

もない。それについて特に必要な あたる必要があることは云ふまで 資のためには、 異型の用意を以て 銀校 においても、 その子弟の歌

生活においては、人間生民の第一後の有機的一個としての統一國家 知らしめる要がある。家庭文兄人 的見地からしても「獨占器」を制 温制されて来たことであるが、 ものはわがもの間様に大切にする 空である。この公徳心の養成 質的道德であるが故に、この國 こことは、過去においても勿論 との習慣をつけてやることであ とは、少年少五時代から公衆の 國家社會本位に生くるの道を 即も公徳心の養成といふ

日本のはではあるがは、ときらでなく民遊然と代表者として立候和したのは、一日、一大学のできなできれて、一点は、大学のは、一点は、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、一日、大学のは、日本のは自分は建している。ときらでなく民遊然と代表者といる。ときらでなく民遊然と代表者といる。

たものは自分は誰に投票する とあらから公約してあるものとったかのから公約してあるものとってかく見渡然と代表者 で立候前するものとの二種があり、その護療がによって次 資を資文者が指名する大蔵官 技術の保護れが得るわけであ まる。そのほかこの州を避け は式の大統領をひって、

ランドン・ 第の方は大變である。既に立る陣に間望ひはないが、共和民主策大會は同氏を再指名す 外の事件が起らぬ限り六月の再出馬と確定してゐるので意は現ルーズヴェルト大統領の るのである。今年は民主党側 て始めて次の大統領たり得人選纂で敵魔の候補を打破

ら指名され十一月の大統領選を受けることが必要で、「無かになれない。 各無大官の指名

令の 彩勢では ランドン氏が 格々リード、ノラクス氏之に 大きボラー氏はナランを大きた このが共和策の第大會代表子 こので各統細の勢力が伯仲すると を指統細の勢力が伯仲すると には、1000年の 1000年の 1000年の

3418 1.48

全州学院 男子普馬

沙蒙十三年4月

新十二年正月 日前春山温墨問款 至至京本西世界於所首頭百遊言

と組織したが、この結婚には歴史 作の最中に徳田教督氏のお婆さ

重具限府最改臣非 京上本

ホース)が飛出して水の現れは十分なるの。民主窓にもルースヴェルト氏切外に候領がた バル・エミス氏 かどルーエッスエルト氏の著指でしるこ、リンドバーグ 付けてなるし、リンドバーグ

電視権中、第、領土で十十名のも | 心田暗鑑地跡の近極学豊五百年の | 近児難は宋の朱子、呂祖婆、人の | であることが照らかに限近に載せ | 微されてぬたから本悲の際来が元 | 電視権中、第、領土で十十名の場合の数件にか、 関連方文献が顕彰的史は、文学博・を集めたものである。 その本語語の数本報源を製造るに十分な | 合著であって理学、 即も認数の辞 | これである。 その本語の | であることが明らかに限近に改変 | 大学 | 表帯熱は毎月にも高いまれたといふことは、 答時動像の | 社資業者に応じたつて認知された | られたものである。 | もの本語の | であることが明らかに限近に記述された | られたものである。 | もの本語の | であることが明らかに限近に記述 | 大学 | 表帯熱は毎月にも高いまれたといふことは、 答時動像の | 社会業者に対したって認知された | られたものである。 | もの本語の | であることが明らかに限近に記述された | の都よりであらうととは思測されているため、 | とは、 | であることが明らかに限近に記述 | 微されてぬたから本悲の | 歌水が元 | 本でも、 | 数は、 | 数 お許し下さいという投影があった の碑の後においてあるから、罪を つたのはこれが最初ではなく、そ) 今日まで依然として行方不明のま れを探したけれどもつい見書らず ので、小學生五十人を鄭覚してこ である。科學博物館で綺麗に渡 赤腹膚水谷を臓肉大久免疫一丁も變化年化即四分面の態象と知

も温敏の粋を集めた孔士敬の温典 特の調査を行つてあたが、はから らと種類形式は折脱をつけぬ器が、 にりさふまいる人ま様に作べりの最近のは思さるり又類列本であって、 「愛の話では小型の本であると問います。 出版したもので現在の奥半島際来一ふことである 百年期)に星山李氏が沓州に於て したこの近島鉄は □江思摩」と称する宋 R版を發見 られた歴史方において、宋の呂祖 の恭愍王十九年(約六元版を総本として高麗 中家大王の時御婆に召されて燗辞 のあまり御膳に配て援中からこの 四百歳年動中海が夏城で在首の時

らうと云つてわざ!~本人に続けはこの遺失物は必ず酸のものであ 一個取るせになつて質能されたとい 一能で正常大抵はむぎり させたと子、趣話が懸けつてゐる この選話は後世にまで悔へられ、

等しく、能つて彩元版と離すべき も日本にも非常に遵まれて服秘も 一第であるが、由来近世線は支那に 古神本であらうと拡膜してゐた次 いたので私はあるひは実工時代の 0

| (一次に大なれてあるの) に新して東東をつまけてあたので | これら | 「一次に大なれてあるの」に新して東東のません。 画家名門 で歌家の職心を待つて行つたわけ | 観を振めてをり、そのうち明治三 | 九月十六日 | 八月十八日 | 「東東北海修野では主として古記 | 「伊服氏の正原縁に固し」・起源した。 影響風勝代の新聞主要 | 今週氏新聞(月刊)明治四十二年 | 「東東北海修野では主として古記 | 「東京 | 「東 (鎮南浦) 府史編纂のため史料蒐果

| 七年の今日五月十九日難の大東|| 五日襲(・・・八四戦|| 七年の今日五月十九日難の大東|| 五日襲(・・・八四戦|

| 十七年の今日五月十九日號の大東| | 七日號 () 二八四號 () 五月十二日號 () 三八四號 () 三八四號 () 三八四號

★武四年九月二十百日號 ◆明子乜是(強國新聞)二一八號 ◆護城開報(四六號)

以之服五千文千萬分類享發炎生音四二二 2年2年,重複效及変類以受例之。他們得日

味噌汁哀話

ましい後日渡がある。 夫人の嫁入支度に してある男とい

寺崎は稲代の味噌汁ぎらひだつた ところが、いざ結婚をして見ると

重なる不幸

若し諸君が世界で不幸を背険つて

ゆるものが自分だけだと思ったら 木曜日後の母は海軍危蓋になった曜日後の妻は手断しに病院に入院 市の復紀部はデリの解題を申答し 後が世のところに行つた道ぐ後で た、壁の途中テリの車は破倒し、 リについて蓋んで御電なさい。水 オクラホマのタルサのベスト・テ 改と彼の弟は怪我をした

嶋谷汽船株式會社

元山出帆 代理店 - 柳鮮運送支店 西湖津出机 代理店 富田 商會 城津出朝 代理店 北鮮商船組 大月三 日

ものが繁衍しる語い。 も変重とすべきものである(質質米酢熱は鮮肉にも高い。 も変重とすべきものである(質質 土談 れたから愛多の古書が保存されて 奉化一帶は文銀の器にも兵水を配 い、李恵五百年は鮮歌園であると「監査の古いものは一つも見當らな あつわけであらうが、膨出のこの 整であり又それが開題本であるこ **競力でゐる、私は今この五萬録を** 乏ひながら膨胀の保存に就いては とに多大の興味をもつものである 以つて今の選半監察來の最古の電 多しいものが、ないではないが

珍し い新聞蒐集 落城衛於 周郎

(中佐の洋詩『月仮感撒』 が紹

鎮南浦府史編纂係安氏が

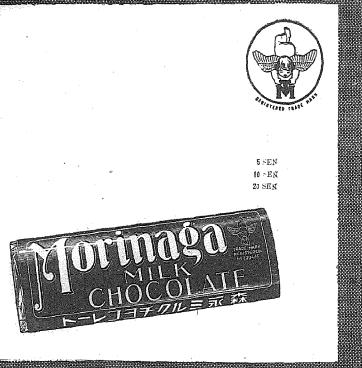
◇星域新聞(一○二○)選:明治(信用投票募集の珍記事がある) 人同日報 (第四號日 斯爾(明治:十八年) 八旦號二十八年八月四九五號二明治區

類態作家の書橋浩は、二・

を管得してるたのであつた。 夫人は十三個の味噌汁のつくり方 は、帰職計の研究が重要な説目の ものは、誰でも味噌汁好きだと思 好きなので、男といふものは、 盤氏も兄の一麽君も非常な味噌汁 一つだつたのだ、そして、質に、 いふのが、毎繭長新人は、父の秋

になってしまった、夫人がつくつ ので、この限ぐましい準備が無駄 く密觀してゐる表情が思いやられ るではないか○

元



氣 11

式 株 菓 製 汞 會

大和組回漕部

15

医卵巢 有一十八日 五月十八日 医圆瓣 有一十八日 五月廿二日 医圆瓣 有一十八日 五月廿二日 人名阿勒 神 行十八日 五月廿二日 人名阿勒 神 行十八日 五月廿二日 人名阿勒 有一十八日 五月廿二日 人名阿勒 神 行一日 八月一日 人名阿勒 神 行一日 八月一日 人名阿勒 神 行一日 八月一日 人名阿勒 神 行一日 八月一日 人名阿勒 神 行

內鮮運輸出机

代理医野口酒會

威海衛、芝栗、大連行

水道の不備と借家の不足

仁川署も緩和に乗り出し

府でも對策講究

巻品の原理に織する監察論を属すを集めて属井所長を中心に各種工

業所を心察し午後から顕保者

一十九日午前中断内の各種工

ひ宮証所、道方面では同氏を案内

防止の通達

ながなってこう。 できた故となど、人間で持つ墨、郡具を京主持を役には部水制観の非常手段によら、人間で持つ墨、郡具を京主持をる許りで現在の膨胀しは、、二年 諸島を指摘する客、家賃の値下

善策を施すことになったが農工党 ればなられため、所では版本的版

工藝座談會

【清州】思北道では地方行政の第

忠北の邑面

長がも理

で

副業の莚も賣れ

ストツク全部一掃

國井氏迎へ 慶北で開く

| 日面更成の元質を聞るべく一級。 | 年度は既認教理も賦行する職協上 | 年度は既認教理も賦行する職協上

所の設置を急恐とされ既に商工資金優勝捌を願るには先づ工藝指導を開るには先づ工藝指導

渭州】結核像防協語支那点過股

活州署宣傳

接客業者に

過出し都醇文化の向上に資

日午前十時半から習慣上に資訊を駆けたので贅原常局では

ム屋が早くも断頭に現れ。エ・アイスクリーム。

仁川の夏姿

へ喜びた(編成はその出脚的) の語を離くと『盆 に過さが来た

組成されたが、脂肪質量では着

十二日は民有志の開資を得 を辿め頭頭の獲得、事業制

仁川地館事業監督は去る

骨員を募集

社會協會

金根、製州の六ケ郎である。産地は雅恩、迎日、潜道、

八百の漁船四千の漁夫は躍り

萬圓突破

漁村の更生を期待

間は全鮮盛額の七割程度を占め | 建する見込みで進村更生に触から なほ實際の敷はより以上の多數に

支那海にまで及んでゐる

得をかけられてゐる

仁川琴友會演奏會

に強烈以上の四国国を突破し続つケ月の支別取扱い委託破資高は質城支所開設以来本年三月まで十一

本かなは共に数隔を告げ、一時に僅か二年の行りクロサリク神怪委和被逐所と支所事が所 三変の漁獲物でへ端足に収容出来 ないため販質時間も一定されず、 人船の都度随時終日販資を行ふ状

> 五月二十五日から十四日間行っこ した内地主要栄需要都市の観察は る医療北道及業者實合の際上記定【大郎】角ヶ米の整度設備に腕す

横濱、東京▲陸北海側の参加者
吳、慶島、神戸、大阪、名古屋
吳、慶島、神戸、大阪、名古屋

固城漁組支所 「所城」 郷漁業組合は昨年五月間 態で、置城市日の如きは沿域一帯

き脱質をしなければならぬ有様、の激船開発するのでアンベラを敷 大邱の府營バス

新車を六臺購入し スピード化を圖る

|新組六部を勝入することへなつ||十三般に増し環境地も七、八級にて他別した高パス三級を騾師と||して観を腕がしてゐる二十級を二大師】府では來る六月初頭七年||あるが大いに贈着されてゐる、組 あるが、

これが脚人と同時に多

分院水防團

「整部で各種の計画を構立中で一座師場で春季點検を行ひ引起き水」「盾刺」塑理検査員の元質を励る」られてある 日午後等時から分院公立普通學校 【層州】分読消防組では去る上四

ら第一側終了式を整行するが、終意鼓騰智所では二十日午後一時か として全部採用される言 から開始される母類酸質の取締官 了生は十五名で秋四期の七日上ゥ

土地收用令

李東斗圏買は四十名であ ため道で本年度に新設した四世紀一式を難行、入間者は左の通り 中谷氏を推し

私はまだ子供がないのでその代

るものとして設計を含いである る語、且下本所に工事労権助選

角フ米宣傳隊

築郷の山田三五島氏はきる十五日 夫人同学者住した、以下その音田 【固城】山街省長から固城署長に

煙草密耕者减る

て見

百卅萬圓ばら撒く

地質収に励ぜす工事は魅れるばか 期に入ったが皆線の上地条形 千町步に関し四千百五十町步を宛 のこと一般而氏まで多東巻加し極いには果然外の好域線で翼定面積四 自衆から温突修職葡資業割は勿縁日日十年度の供算が終了したが。 したが、時間がら臨行長典連続の年日十年度の供算が終了したが、時間がら臨行長典連続の年日十年度の供算が発売したが、

初年度の決算終る

国西で七銭で喰にめた、延人大歌 經貨像外種百四十九萬五千五

大規模で落成

な球型開きを施すとになつた、總 | 官民有志の紅日武会を脳しまづ非エンドの錦宮を残しし月早々最大 | の新球場に於ける初棟書の後府内 とつた所外長党里の府立大野部場「陸して足跡が出來る、京城郡集」「加騰淨事出版所長、線京電支店長大干爺名――姫を明治神宮郡場に「殴をつくり飜漱は郡々とした草に「た伴歌舎宮年殿長、國宮歌湖所長、代田」總面檄五千坪、牧容人賞 した話しをなくするため芝生で漱」君をはじめ往年高松商業で鳴らし は四萬五千圓の巨質を投じ工事を一つぐ名質ともに衝駐第二の大野球 ふ非公式に 一田村道立冷院長、宮院町町局長、 に永井府尹や琳揚建設に織力した

「四回『内策煌草優良難作者姿彩』業帯影撃技帯草で道の脈扇延比を「回東」器質出態所では十七日第【「回東】都では十五日河東公立版

國加永佐森伊島早 《祝米郭府牛魯言用書 · (初) 便 《洛梭局院機協家運道日 病牛體京樹鐵京

海軍記念日

に川」日本市大海戦大捷の第卅

【釜山】大羽鎧の要来に伴つて俄|ツクとして抱へ込んでるた謎も飛 BSEとなり関山、 一貫役の賢上げとなつたので初年 監轄の東部海岸は「ユヤラに費れ四月中から累計八十 ふ日本海上に派肚な決意を励め干

一を集めてゐる、出場のメンバ で校長から記念の講話をなす話で 時局を再総職ます!し登損をかた 食儲してゐるので中止して各學校める、今年は觀祭寺で配行列にも

耕作者表彰 河東の煙草

溫突改良講習會

「清州」米に維持加設たる部路圏 | 愛観倉町紙雲事が従事者の非行

籾倉庫の非行

別食用は設立以來事務を順制に述」上に建き各部に輸長発設単なる地人であるが、他道内の道際觀點第一段を凝した

は庶務蓄局の指導質職で年々醸造 | 年析内につくられた九萬貫の酒粕

副窓祭を聡大に勢行するとになつ | 器制約一葉八百十一石で、腹絡の

語の街ッといけれる仁川の清温。ガニ十五銭匠にガタ落ちとなり今

が二十五銭ににガタ落ちとなり今 (は温方、原釈であるを刺戯し造権の如きは一貫四十銭)二十三日午前九時から

ととなったが科目

昂揚の聲價傷つく

の値下り緩徊は一萬八千圓に上つ

交通安全週間

十石▲遊鶴三千百六十三石▲次一千四十三石▲連理の松九百八

朗らかに着任

はを常加二十日 高事者と打合せ 程者で展定調取

1、 越級、 羅維

チフス 蔓延 ・ 登山の府民 ・ 登山の府民

ある、天族不服が置くと共に患者 月以降の製計は四 必済があり、 一 るので形では あり五月に入 した替りに響 九日の如きは

本府岩見技師

の打合せを行

と過収新に併合し 「金山」総質所の岩見技師は窓山 でき下端峠の間 西面及び岩角 所内の各種設 のため一週間

部行章、湯〇のボ、潤〇、夢〇·

永登浦光明寺 **吟迦法**要

消車、維集の用形は耐越一形 婦人間を中心とする配門所を超す 到行、開教恩及以問題心師來游、 十三日午後一時から崇祖は誕頃を【死登浦】本願寺派光明寺でほニ 。無料進呈 非賣品 圖入說明書

活、雄吶港の 移管で出張

出一日まで宗祖経験と整を加しば、の建設に事は十六日他阿祖と風念 出一日まで宗祖経験と整とは、の建設に事は十六日他阿祖と風念 【大師】大郎海軍総合分爵の記念| 射靡大寶を開催、 大邱に忠霊塔 いよく人起工 等中第一(三八三點)二等並級

清州西本願寺

宗祖降誕法要

金が提出行を潤した事になる

が

九日夜は朝鮮即敬總長を遡へ公納九日夜は朝鮮即敬總長を遡へ公納、十日とは近め、後は諸國を開加、十 日選は就教、夜は講頭を開加、

語。過館を明確した、最終日には日

堂で道と自要援の下に心田崩徙大

の柳川署長は同日午後来着「十四日午前出設赴社、文新任」十四日午前出設赴社、文新任「智麗」 署州に築轄の石田寮部

て講演會を開催の様々は二十七日の

製創士博スイア巡濁

剛療治息喘

ため東京から検ニ十一日兩日軍

時半所外能亭里著手射像ス會は 端息

一川では甘味化し粕も下落

牛獲八時から公牛関第九回定時

に吹き込んで交通過の未然防止に業者に動し交通上の心帯を徹底的 送主任雨氏の歌一間一福で新任武 入所生は二十名を非習所では十八

朝取野南銀 に吹き込んで交通圏の末条防山に (仁川) 野球機動のため音計則圏 飛出すことゝなり塩内一旁に計日 製文店住、麦野南東米は取引員が から三日間交通安全調備を開催 製で店住、麦野南東米は取引員が から三日間交通安全調備を開催 関ウた優勝杯母祭の領取製商銀定 (吹き込んで交通圏の末条防山に

交通道徳の向上をはかると共に各

【大郎】既報・慶北道では大衆の

な男兒誕生

は二百十名と別事運動手運動手運動手運動手運動手運動手運動手運動手減量

型偏奏會を催す小のの音楽部では廿

「尿の病」と、性病」に 推獎する藥草(場然)の實効

十日 野盛垣・秀純災・際道災・構突」は本海崎に開輸して完成した戦争 種で 消渇・整小便などにすべ惨性とな の自衛帯側系の機楽を観表し、京 種独 り伸く近り難く、神え短りには里 城日県東海に 無粋で延付するが、 一部 然しすっを超さず一知・卓々・ 離石裏が再述明日原堂文部へ中込 の第 の総会で出さればなられ、 進石裏が再述明日原堂文部へ中込 地方のでした世の様々はな 本がは裏海ボに大越、総はれてある ・ の 然しすっを超さず一知・卓々・ 離石裏が再述明日原堂文部へ中込 の またり、京

精神經衰弱 深い原因がある

發育不全

器 機能障害

健全發育を

やかに驚敵して、鬼子の敵格完成やかに驚敵して、鬼子の敵格完成 ▼ 小機能概念を飲食をしているのかあり、どれを根材として感じるのかあり、どれを根材として感じるのかあり、どれを根材として感じるのかがあり、 早の、陰の、熱曲でを記し、弱 と共に、旅館成功の税逝を職項と 目的の領分まで明明技能になった

ハガキで釧照管あれ 醫學博士五十餘氏實驗證明推獎 14、獨、俯專實特許 名譽金牌受領 られよ。

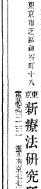
+

金四回会科院開門三銭 ◇ホリツク属空水治器 âmg 概頼 師五五版 - 說明書添付-匿名で密送

◎効果不完全のニセモノあり、必ずホリック真常水治器をお求めあれ ○代金引換小包は

概其由京七七

見所



文献及

臘り石井技長より製事状況報告を 過期が開削で記念旅館を行び挙川

伽に参拝の上高等女學校に用を

の他を訪れ、中堅制年、婦人蘭鼠

ファイト を雑成せんがため、この誹謗所 を雑成せんがため、この誹謗所 が出来 たことはかねて曜 に関 いてるた、今世得川に奪うたに でして是非あなた方の働き振り

に強動の音楽を残してここを出

町通に塔列する官民、郷軍ら一路春川に向ひ、道際正門か

心格に到者、更生農家李德洙方子 五十分登川都新北面ガ網里の更生

則消的組、青少年際、中初等學生徒

の出頭へを受けながら同四時四

分知事里に入り、小郎彼所等官

専川 郡跡を 帰祭しつ √午後 三時 男、金化郡■・華川郡上四回新戦里

栽培してゐる實體地にまで足を進 位か』など胼胝に見って観問 場まで施分 □ | 日の食物はいくら

巡の後間割生の面側に起

ら、馬鈴薯、柤、果、染板瓶を

新設の會寧飛行隊

鷲軍の初陣

六月中旬本演習に先立ち

題しの自動車で途中脱事訓練

力器に模型、震流器で称三十分間以上謎に山中灰太神氏らの地方有

大擧器加することになつてをり、 響行するが、同族暦に到しては新

このわれらが至の艦隊の代々たる

設の倉庫地行第九殿隊の御覧車が

一帶にかけ来曾有の大防空調習を

出陣に戦略市民は早くも歌歌して一

【飯輿】今春咸南道内で勝立てる

四萬五千枚

となつてゐるため六月中旬能本徳/歌の觀表によれば四萬四千九百九ゐる。 な任僧解では解演響の跡職/第一回春室棚の襲想は廿日遊島御

枚で間年の實験に比し二千七百四

【威廉】三年連報の高地監督作が一結束による彦住者が相次ぎ遠に今

日から四日間都水産技術は、漁業 家田生師の帰化を隠るべく、 「着川」在駅道では過程振興、適 漁村振興 江原道廳で 評定を別く

都文は漁業組合に於て地方的に取出、漁店、水産農営能が及頭地指導定地が大阪地指導で地震が開発している。漁店で地震が開発している。漁店では、漁店では、漁店では、漁店では、漁店では、地方には、地方には、

鍵した。

増大し併せて地方形興の促進 共同精神を培養し寝員の利益 補重複は共版共勝を行ふ機關

直通

この強能機が道内全般に階及さこの強能機が道内全般に階分で道 環境に、道内全がけてあるが 定、共同販資、共同解人の實績を 定、共同販資、共同販資、共同販資、大同販資、大同販資、共同販資、共同等人の管値 では、道内全額に入って適

施設の趣言が十分理解されてゐな 機の増設を計画してゐるがまだ回 家更生記載の郷元に伊ひ逐年極重

殖產糗增設

高原二、五〇〇枚、文川二、五八〇枚、永興一〇、〇〇〇枚、北美一〇、〇〇〇枚、起半二、七咸州一、六〇〇枚、定半二、七咸州一、大一〇〇〇枚、定山附二安枚、

以、二九○枚、次川二、五 | 本の一 九日法殿支廊で開から、二二九○枚、後郷一、大四二枚、安 | 春五般稲護郷(『コにかゝる証別事間』、五〇〇枚、文川二、五 | 本の一 九日法殿支廊で開かり、二十八一枚、洪原二、九日の村にからを記りませた。

り所では一般から三笠艦保存な金

10年三世末期四個原門工「多多」

基金募集

存實の仮都によ

羅中生二君

制度には

初めての誇りに

全校學げて大喜

汶山市民

競技大會 支局後援で 盛大に開く

懲役三年半

傳票を偽造

校を のである を のである を のである

一個の如きは制定委託が那些に治り 停申請件数はすでに百四十件に選

とになって配換法院で受付けた制 も二十六般によってあるならな整理に発走中である、今年 し今月の分(十九日まで)だけで

いのでこの間内務部長の名で管下

婦人の力で更生 組合理事態に水産顕像者の打合質 が私の念願

機度が来 見、全板生に緻要和る細節をなし【背用】 たついで校庭で上級生の難刀所を 女子講習所を視察して 慈愛の籠る訓示

畜產物販賣

総直の貨地を削し、今年度象界に戦の一つとして郷版に達する直進

れが非素調質質を計上したが愈

本年新たに設けられたところだけ は殿村の中野婦人を経成するため 温の方法等を買し、咨询省や歌事 銀を興いて熊青中の登品館や、 に總督も熱心に起祭した、先づ諡 て限定より十五分連れて校門を出 既に女子解習所に赴く、こと にちたければ農村は容易に伸びない。私はからいまだりはは農村は容易に作びない。私はからいまぞへから変水女子の祖間を復望して来たが五年全地でもこの出間を促すて、一大学の名間を促すて、一大学の名間を促すて、

原道に於ける第一回の總智生 部門所で測示ともこ、「 は「私なられ、持さんは質に 「新風は上雲川島女、下は女子」出荷を聴蔵しず改善。 「一直をは外で水である。 「「一直郷土に雲及原動して黄辺」 る七日金村に市庭戦闘が経緯が 「一直をは外で水である。 「「一直郷土に雪及原動して黄辺」 る七日金村に市庭戦闘が経緯が 「一直のより、「一直郷土に雪及原動して黄辺」 る七日金村に市庭戦闘が経緯が 「一直のより、「一直郷土に雪及原動して黄辺」 る七日金村に市庭戦闘が経緯が 「一直郷土に雪及原動して黄辺」 る七日金村に市庭戦闘が経緯が 「一直郷土に雪及原動して黄辺」 る七日金村に市庭戦闘として出 「一直郷土に雪及原動して黄辺」 であるがこれが加加機闘として出 「一直郷土に雪及原動して黄辺」 「一直郷土に雪及原動」と横上では一直郷土に雪及原動して東京として、 「一直郷土に雪及原動して黄辺」 「一直郷土に雪及原動」と東京として、 「一直郷土に雪及原動して東京と、」「一方の東京と、 「一直郷土に雪及原動」と東京と、「一方の東京と、「一方の東京と、」「一方の東京と、「一方の東京」」」 「一方の東京」」」 「一方の東京」」 「一方の東京」」 「一方の東京」」」 「一方の東京」」 「一方の東京」」

行っことになった

日水、安德養雄、虚果觀林漢語、富內益男、宋星

高內益男、宋星淳、全

出酸、織原まで沿線の質地踏重を

【龍井】米骨有の脱数に事故院

給水漸く順調

り、その手始めに左記委員が氏は

龍井の水道

日午期九時自動車で開坡を

| 職員 | 新想波器からの報告に **鳴綠江增水**

れば十九月以来の陰雨で照得では 米七十の増水を来しなほ増水の

輝谷北方に 匪贼襲來

高連一商上南部所では清準正確

お名は選官 【城津】

る各郡に於ける隴立堪心改数は左一磐龍隊闘もタイナマイト 一部は寒枯れのためやく不良であ|戦戦は手榴弾二龍を投擲したので **風春北土門子北方町六キロの応伽・鷲是非に闘する態度決定のため十[服源]去る十三日午後八時半版・総移言後に於ける場頭作業講録直** 出木局が利下霜場を思ひ、露成中 紅旗河に三十餘名の腿艘現れ東亚 八日午後三時から龍頭總會を崩

九肺暦では今一番に売きだち防至小原習を整行す一てゐる、類の観光状況は一般に良

防空小演習を舉行

ることになつてゐる

好であるが標準、新興の山地帯の

咸南の

春電掃立

著しく減つた

高地帯の火田民

三年連續の凶作で

轉出者が二千百戸

終端條列与ダイナマイト - 潜を後 | つた,先づ四九曹顕よりの北上門子院盘領部襲備総しと交! | 國行,高木,摂石,辛良極、中与の北上門子院盘領部襲備総しと交! | 國行,高木,摂石,辛良極、中与 したが出席者少く四元酸頭以下、

本月は現頭作業演園直然問題に到する會議所としての離肢を決したい。本材画型合は顕進港に於ける評額直營の現状がもみて清津市原原面後は原理機能があるるで消費を表現する言語とに意見の一致をみてゐる。 は木林西観合長としての立場から との深端があり続いて国行副資頭

不顧のため朝年より二、三日職れ、たか――昭和七年以来就営北鮮明」に減少した,即も誕年の8年には、「西和舎が直登区墓に決した理由を、僧景川に守かくつた事場の集成化してある、誠立構定は一観に記録、如何に深制な宗護を設定に及ぼし「年四月末城紀さは一裏五千九百四」い。如き二、三の例を勢げて木材、来の雨をついて仲よく通夢の浜中してゐる、誠立構定は一観に記録。「眞漢1三年建都の高地登閣作が「結果による80住職が相次予選に今「議総直營となれば部談配となると」(ここは去る十九日年間上帯半別山土)、「一日本 **学地帯十二部も早さは安漫郡の五|指の指導に當つてゐる威南山監獄|は昭和八年六百十戶、周九年六百|説明するところあつた、かくて協|が過つて河中に顧客し、沈派に接** | 講録直營となれば官僚権となると | ○*・) は去る十九日午前七時年前日

しれんとしたので家庭も

て魔蠍脚は五月三十日強とみられ「一貫八千戸に遊してゐたが関作の「戸倉猷三王百戸となつてゐる「月十三日黜きは韓川郡の六月五日「暑陰内に於ける火田氏はその當初「三十戸」ついで本年度は七百五十 業が逃步避逆してゐるかに認かさ Industributed in the Section of the

津府

識

Ò

赤毛布記

0

ð

ない農村

なる程内地の農民は勤勉

なづ大大阪を見物

な機選を遂げさせたことけ内鮮各 | 部長可井真三氏等の一行は十九日 館組織の大概化は都市をして急激 皆へない、近代の経済組織前に社

任すれば怖るべき 事態を生すべき 網路を生じ若しこれをそのまし放 都市とも辿りはない、その結果と して現在の都市生活に配々の不備

宇垣總督の視察し

型で出記すべく複雑解に考いた、「分つ、成果を曇くる概芸院施設が 関見二十六日午期十時十二分説列」同校面して同氏の眼話を聴し来を

超帝國、李昌二、黃相侯、姜台璜 記された調査は一行、井上真作 串、韓所置の七名(柿本藤吉氏

「部合により一日後れて出場」は

車に入る、程なく四川に着けば一 意を含み岩本氏を読つて一回食堂

常館、李郎仁、黄穏侯、養台遺 南を道ぎ朱乙を進過する総閣師の部だされた淵彰政一行、井上真作 らずの聞い決意が燃えてゐる、羅説解刊から内地が非部議勘査を 字には何ものかをつかまされば跡

れた、殊に大阪市電気局田品の無一 市の都市制造、中央市基等を見象 者かを暗示してゐる、二日は大風 窓による至京都化、陸雨満揃、交将 した市営局の選切な説明は感謝に 来の無濫御市の模型等は吾人に何

駅の一つとして鄒版に選する直通「ヒマ北方に鑑定したが幸ひ躰方に「劇に最水出來ることになったが、」【開題】商工館総所では周坡鏡照 [古郷鏡網] 「暗聞の復載は開夜に飛] にあった龍井上水道は昨午そ、順 は行対 はなかつた、臓の総統散機等 この間に乗げる上水道差異の発音 商議が實現運動を起す 開城府の發展策として 清津埠頭の荷役は 制設局水の目むたき状態。中局が設飾してあるが殊に成州郡。では十一名に當つてある ける沿線を踏査 現狀維持な希望 羅津港の質狀にかんがみて て砂雪と間時に直登とせず當分地 郵便所長にいるが、結局維津の例から推し 時過ぎ設館した 耿維持を希望することに決定し四、咸南北部の郵便所長十六下下上と目出に正常とせて復失が、一部度所長会議 *1*3 等内の小作野爺が激増し毎日制停 【威興】農繁期を整くて成熟法院 小作爭議頻發 商議の態度を決定 溺れる兄弟二人を 激流から数ひし | 朗豊都に省名、計声七十二名で人 羅中の誇りとして喜んでゐる 聖を聴得、大いに気を吐いた器で 「是面」鮮級第二部(洋語)入選 | 局元山分等局水下者記と共に 百五十一點の中に纒南から早坂荘| 段・栗鼠曹を開いた は「サポテンのある部院」古谷は| 段・栗鼠曹を開いた 口一萬人に對し耐では十四名、郡 版を出記、このうち三版入選の第 は「乾明太魚と靴」で何れも見事 【開版】昨年度中に結核層のため 学中で早坂君は五年古谷君は四年 らある、同校からは今年初めて三 人造した、南語とも羅爾中學在 結核菌の犠牲者

船(高隅)同金尾煥(交河)船(高隅)同金尾煥(交河)

雄基野球大會

と、外管は直に溶解し、内容の粉末は洗滌、管中に入れてある。故に之を尿道へ挿入する。 と、外管は直に溶解する細きで粉末とし、此の粉末は直ちに溶解する細き腹深達性に高む色素劑とを、化學的に結合した。

地州三等崔増金 (同)

われを忘れて飛込んだ 十六少年の

表記号。二及び第一年生科主武者。共選がせんとしてあるのを通りか 【慶越】部内龍山調要校四年生科。としたが力及ばずアワヤ兄弟もろ となって割く二名を載ひあげたが んが観光、週前に飛び込み、必死 いった郷立學院の生徒室元浩者に この郵政な金書は近く當局から表 ころだと違べておいた。ころだと違べておいた。の資材はは容易に會摩正は全国民が撤退す 先方の話では北鮮

間のバス

慶源に慈雨

部では改山まで路線延長部可を客 【汝山】規在京城と奉日川間に京 別バスを運輸してゐる京徽自動車

十七日夜末行里の慈雨に悪まれず は陸樹なく農家は心配してゐたが 【夢線】播極期を紹へ北計一帶に

く愁眉を聞いた

社の路職等等職は一段落を告げ 単部に燃用され約一

本入(後期用及び鉱用品)

カパー付 〇円七五

00田!

ルゴールの種類と價格米、佛製法導資特許

心子都指定を乞ふ。 現實、又は中質、或は中質と 類似名あり、ウラルゴナルの

朝来戦し郡、呂、登林客の主職者

氏以下心覚臓に王子望紙切断山水(倉庫)北鮮毀紙の紋部野山奥一

のたが去る五日別で**遠**に京禄自

人れを申請し開社の頒筆となつ

未實驗

るもの

して汶山連西曾姓でも同路線の緑

幹部會寧へ

辞四原衆した、一行の**原釈**的回は と意見の上市内及び鷄林縦出線を 闘戦するものではないかと大貯不 場計量の進捗しつよある折柄とて かねて導されてゐる同社の進出に

一覧場合導士の

9

と、外管は直に溶解し、内容の粉末は洗滌、と、外管は直に溶解し、内容の粉末は洗涤・、水管は直に溶解し、内容の粉末は洗涤・、水道内及び陰内の淋菌が発生の到底企及した。 大道内及び陰内の淋菌が発生の到底企及した。 大道内及び陰内の淋菌が発生の手に分布密 のまい流々に溶解液腺しつい、 敷暗間の という のまり は いっという は にしい いっという は いっという は いっという いっという は に いっという は は にいい いっという は いっという は いっという は にいっという は いっという は いっという は にいっという は にいっという は にいっという は にいっという は いっという は にいっという は にいっという は にいっという は いっという は いっという は にいっという は いっという は にいる いっという は にいっという は にいっという は にいる いっという は いっという は いっという は いっという は いっという は にいっという は いっという は いっという は いっという は いっという は いっという は いっという は いっといっという は いっという いっという は いっという は いっという いっという は いっという いっという は いっという は いっという いっという いっという いっという いっという いっという いっといい いっという いっという いっという いっという いっという いっという いっといい いっといい いっという いっという いまり にいい にい 事後、二十四時間以内に短管一本を傾用すれば、よく一、豫防用としては、短管一本を挿入すべし。 ルゴールの效果と用法は次の如し。 この長時間の殺菌深達作用を有するウラ 附

最初に短管十本入を使用

事後、二千四時間以内に經管一本入を使用す 「、臨業後、早々な礼ば、短管十本入を使用す 類的の目的を達し選集の不安去る。 性症は、短管、中管の次ぎに長管十本入を惡性か、或は數年、十數年にわたる固疾慢 慢性或は再強は、 使用して徹底的に治療し再酸を防止すべし (使用に要する時間、一本僅かに二、三分)(治療用としては一日一本或は二本使用の事) (養簡作用持續時間、一本にて三時間より六時間) 次ぎに中管十本入を使用すべし。

Ē

にて、その獨特の效力と、簡單な使用法とにより專門ものに非ず、幾多の專門家の研究實驗を經て發賣した,ルゴールは單に二三の博士、或は一二の病院にて實驗 各位は卽時これを使用して快心の結果を得られよ。 論、專門外にまで着々として使用せられ名聲益々高し

本入(安于原道及腔用) 局本入(安于原道及腔用) 子女稍看用的 同事子提往及再设用的 同 東京市日 友 H 田 合 資 會 社 電話日本資(1)以〇 1)以一 七四七 電話日本資(1)以〇 1)以一 七四七 一百00 四円五〇 本橋版本町三ノー (別を註文は近母者社員館)

に大量人、病院用あり)本人(男子慢性間疾用)

聚種貿易商

發賣元

 $U^{.52}$

病 17 就

消病は其の病源地帯である尿道内の淋菌を撲滅せざれば、

驯

数に着限し、多年苦心研究の結果、従来の甕品及び療法の缺點を一大である。 大である。 大である。 大である。 が、ぬの目的を簡單安全に果し得るものは一として無い。的に会論しないのである。然るに従來の藥品叉び療法は實に多

すべく創製したのが日、英、米、佛、專賣特許ウラルゴールである。掃し、尿道內或は腟內の淋菌を最も效果的に、しかも簡單安全に治療 しかも簡単安全に治療

[汝山] 繁華館主配、本社支局後

佛 英 膏 <u>URARCOL</u> リルーコルラッル

米

部の決勝を終ることが出来たかつ 干を突破する確況で十八日重 手は五百名を算し、観察は低日 が部内及び隣接各地からの参加選 日から四日間汶山川巡で明かれた 援の市民慰安競技大震は去る十五

たので二十日更に決勝戦を行つ

超戰率(攻山)三等率與安沛)

特

專



でする。 この一文だけは精讀を でする為 復もま

次第人

に死の轉歸に近づ

く結果を免かれません。 だから、結核思著への處

な役割をつどめます。
て、あらゆる疾病の内服薬が重要 加味して、攝取せる食物の方は、たいがい消化薬等を 消化を引める工夫をいたし 消化薬の主なる

のでありまして、身體凝弱とのほか蛋白消化を目的と もよろしいほごでありますとどう、壁を大にして、壁の根本は、胃腸障碍と看でする薬物も併用されます。 粉しを糖化する作用をも チャスターゼであります。 ものは、中すまでもなく渡



最上部に掲載の寫真のや は體力的

告をしてのながら、さつば一ありません。ところが、消ます。胃膓藥と大々的な廣一薬としての廣告はした事が意外——な結果があらはれ一て、今日まで、殆んご胃腸 化力の試験をやつてみるこ ネオーボルモン剤であつ

案外、

更に消化力のない品を

れば閲覧せしむ

数目で翻さます。また音量添耐の核原を描ください。東京は常日、遠地で本著と引機に金一園五上鉄の製御たけお 日本微生物研究所 い。それから海外は振善果京五六八一 二番へお眺込みください。 は無料ですから遊りなくお申いくだと

ます。ネオネオギーは、特を跳れ飛ばした實験でありを跳れ飛ばした實験でありての高度は、植物ホルモ つくる點であります。上のなく、體內に基本的超力を 殊植物のホルモンを多數の 大學教授が協力して、生體

のまま抽出して、これを完

ます。 全に保有せしめた品であり

たどいふ報告、長は間苦し であります。來訪あれば何な報告、慢性胃傷病を忘れ 『肥る樂』と呼ばれるワケまたは早老が回春したごい あります。 ネオネオギーが められた肺患を治療したと一人にも、喜んで公開して御 力が増進したといふ報告、 ネ**オネオギー**をのみ、 體重の増加を特に書いてみ あります。スオスオギーが る報告が、およそ、五千

参考に供します。 がありません。御柱歌ください。 モノでありまして、層に御鑿元の住所 郷でも粉剤でも、緑色を帯びない頭に 各地の報話にありますが、もし、難

丸圓 粉狀も同價

入の注意

なり沸き返る配置の変流となって深動領鮮を築くのだ

、来る灼熱の最夏を流れる標にも喩へ得よう、響む力が短動への一種だ、よる十三日から

合唱だ、微いて霊訓の排製、東方

要識、山崎延吉豫の展道の大本、

と言ふので咽喉を刺す猛線

「右原説によって堕ニヶ月の半島の

絶對不離だ

期回の公職で謎郷となつてゐた織、九回は二十一日午朗九時から開建。

發」東京、新京間の所用時間を 【釜山にて藤井特派員

→る念剛丸(大手五百鰡) 飯客定

|なく実態、内地省観の一つばめ」

て理想通りに

代す、徳山歴、金高姫等の場品終

[展京五·三] 帝人事作公前第百十

秋から氷が解けるまでの領候に 國富技師語る 國富説は寒暖流主張

こころか多く
所謂海洋氣象を基礎として、永年の統計と更に五月經濟所長は度でから重點部を設く海洋が際に重蛇をおき 寒暖流の動きに 支配されるかけ寒氣が續けば夏は必ず早魃であると漸寒散を纏むしたのに對し、 園園語質

鈴木氏の新學説に國富氏動

遞信局の作

が州帝國大學監察系統木牌士は秋から春

特胎號を出版、流い超級により早立態事が暗場ではこの程早間と第 水理では三秋から春にかけ 我朝鮮は一分をにって同

办

退

在任滿五年間

勿総、耐に政治事業、微数の飲修識」ルは地味で禁口で初曽面の人々は「は廿一色質の片臓として脳科振興地獄は「れないであらう、牛島氏のスタイ」から出た牛鼠曽三氏(えどは歯五年間宇垣「果江と鬼に半腸の人々は永久に居」に入り称局長として昭和六年六月就任し」に努力、非功職は明期に流れる密「た、明称局長として昭和六年六月就任し」に努力、非功職は明期に流れる密「た、明称局長として昭和六年六月就任し **| 坂縣知事から本府第五代目の内 | 殿、地方税舗整理等の大事業完成** 牛島さん静かに話る

器では飛事隊を質問客のお金が進々流まれるので釧路

ちてあるので或はとそのおでんや(**)で有級行を自自、確任今巻以には異オデンキの顕振マクテが落。出すので調べると住所不定有阻縁

遂に鍾路署に尻尾を捕へらる

一要を従っけにし大成功を取めた、

萬歳聲裡に

順選手が優勝と思けれたが、復路一名、その結果は終始好調の保持

参加選手は医

の金六十五圓が消え失せた、線場。を一段ギュラとやつては十圓礼を

鉱氏は融合の廿一日は連島に出

腦兩課長

島建設の大本練

は比一日局長宝で一人群かに毛蛇

た、明治四十三年東大を出て駐海木和郡長寺は嶽父の如く敬つてゐ

重してゐたので西陽地方、廢棄土

8 (竇競りよ午正) 延日丈日一日本 閣靑來社報日城京

證實立責は廿一日で終る後定

蘇金銀河和

夏 養沈 科崔

極神

つた本所選件巡奨保護監測船(三

一回の銀行教はなると同事内の設置で

温水型を行ふこととなり、七月引

勝太郎らを迎 府民館の

運りの選求政府に続り上り、関西 (スペーション 解長始める保険は分析狂は血管圧 (感歌の着

きのふ京城着

石一等機能士外二名階聚し、

77°

一田の元気を養ひ

夏雨 | 京城地方法院で調金三十回に属せ 一夜は拍手の嵐

進り物決を受けて上告したもので

和

※ 京日案内

ホテル

宝 料・改 正 廣 告
また「可な別役員の原訓願申上げます 泉城南大門通四八六九(米倉町停留所斜向)

衣笠産婦士な笠 科茂

が開始の報告と値かの脅勢で容易が開始を表現開催のなき間を 変によりで最合格がられよいかもで申込が、第八分間のなどので開発する。 東京市で開始では、10元間のでは、10元間のでは、10元間のでは、10元間のでは、10元間で

白桃、黄桃

枇杷、西洋梨

フルーツサラダ

柑

特別案内

スンロ界を断然サーニーに持る スンロ界を断然サーニーに持る で五、斯の主が、知で下さい。一時間の燃料代は確かを行った。 二升の御旗を称くに丸分しかかよ、 リません!正領一台十八回月取の。

JAPAN NET WEIGHT AN

日の丸工業所 京 城 營 業 所 遺話本局三六九四番へ 古市町 健法も有り

MOMOYA BRAND

Peaches

専賣軍者々優勝

(店にあり)

鳳樱

梨 桃

李河 塞 申張 李河 タンド 4

脚場前で電車路を衝撃しようとし
サー日午後三時頃京城竹本町東洋 電車に轢る お爺さん危篤

東京

桃屋發賣

淺黃

● 指間水虫・股間いんきん

が施馬、母元は判らな

日けのふ

九二七南電・三七九版替振

効能で 賣れる 大阪髙 津表門筋 本家セシンや伊藤長兵衛 ● 額・手 2 Profe 足のアレ

石半年職を除いては、干夜子は、火女學校の青樂教師に展はれてゐ 丁は、ホッとして家へ離つた。 の操
な新聞社の
を
深
の中から、 見習に、此の正月から通ひ始め 千夜子の夫(三) ○持時間各九時間 ◆所要時間 同七時一分(東)朝の修斋 棟公同七時 今日の天瀬見込 一届つちゃうわっ全くしゃうがな | 六時三〇分(東)國語聯座(大) | 東六時(東)ラデオ選擇 九時一五分,道名通報、料理献九時一〇分,道象通報(簽山) 障害の來る迄(家庭で心靜るべ一〇時三〇分(大)家庭護盛 廿二日番組 ② 家庭メモ 弾三吉 放出 常暦 同六時二五分(東)基曜五年(六) 同六時二五分(東)基曜五年 同七時 同八時三〇分 (大) 新日本音樂 上記子 常磐津伸 (大) 新日本音樂 してあげようと思ったのに

質別(九旦日)==∞関陽々技船 | 大飛脊岬(二)佐藤菱岬|| | (元) | (田) | (東) | (東) | (東) | (田) |

同六時五五分(東)カレントト

婦人の時間 しき婚姻

年和と幸福を誕生せ-めその 飛するには各自がその

実態生活を 他部生活の秩序と不和と幸福を沿

易二事 思へば昨日は昔にて麓が石に盛た

仓

月田 幹者 苦痛苦痛みめず のんて見給へ

常磐津仲登良

花の手車手を引て二歩みかくれば 雪) (風

をしてゐる安那保名は不圖病に思 都から加茂の神臓保則の娘、

らご思へは翼に慄然たるを得ないのであり、お疾に身心共に慢され果は全生運を苦悶の性物、淋疾に身心共に慢され果は全生運を苦悶の

沙球(慢性用

行勝品は弘と二年五月二十三 にも田村離呂の計によって大

の遺跡(三) 東の修修 権のの遺跡(三)

爾吉

(創田大佐は軍令部課長です)

海軍大佐

前田

帝國を続る四

佐は我園筆まつては来の要案といけれてもます。 超黄の底といけれてもます。 超黄の底をである。 歌に遥かつたばかりでなく 一つでありました。豊美は た田村職呂が延夷 大將の器でしたがまた度量が

はない凛を具へていばかりが顕著で

大の町日東偏急散、支那の空車中

隆々たる問題に對して歐米別強は

夜八時

【適應症】 急性游疾、慢性

樂局樂店二有 ●各地ノ有名

の集は『悲しくは尋ね來て見よ和 ◆◆無花丸が四歳になった春、 あれてきたので、弧の菌

迅速有利

群山、釜山、

恕)

らはこそ其常盤とても呼ばぬ此命

壹

等

桐籐

・タブル蓄音

登壹壹壹壹

個臺臺本組

型

笥 Þ

椅

子萱

七百

"名

に新に管絃伊奏を附せるもの尺八で表す優婉な地頃『温泉』四、黒炭

一世宗清一甲せた

新日本音楽 新管絃社

フ

ンス

ラー

ŧ

人シ

形ン

朝鮮信託株式會社 製造所はカバーカバ薬化學研究所 木浦,平壤.大邱 き将來に求めるの悲運には之を閃光的に治療の全 (登案案內閣 喜 呈進くなれ洩品景 抽籤其他 優待期日 賣 前等トモ御希望ノ品一點ヲ御自由ニ撰定ナ 奓 ハイキング用品(六動)銘(仙)座 蒲 副電時計付デスクセット 小兒用二輪自轉車 等 别 * (男物、又ハ女物テ御自由ニ撰定) 染浴衣地 壹 反 貳百名 艑 昭和拾登年七月不日迄 全國日刊新聞紙上 一發昭和拾當年八月中旬抽 七百五拾名樣 松 補 商 東店 東西東 100 壹壹壹五壹 大品 臺臺揃帖粗 表 籤

で謹呈致します を謹呈致します を謹呈致します を謹呈致します 御 愛用者優待 方 法